

長年地域住民の生活向上に尽力した 7人の区長へ感謝状を贈呈

5月9日・19日に地域自治の発展と地域住民の生活の向上に尽力した区長に対し、市長から感謝状が贈呈されました。式では、区長会長も務める橋ノ口孝一さんが「コロナ禍で活動が難しい現状だが、関係団体と協力しながら地区の災害対策などにも取り組みたい」と話していました。



【感謝状被授与者】

大迫照雄さん(新生町区)／福留良雄さん(緑町区)／門松寛文さん(永田町区)／橋ノ口孝一さん(真方二区)／中島信行さん(坂元区)／下沖秀人さん(南西四区)／齊藤輝昭さん(原区)

クラシック&ジャズで心豊かに

5月3日、文化会館で「夜空の下の～Classic & JAZZ」が開催されました。1月開催予定のものがコロナ禍で延期になっていたもので、小林のまちを音楽で笑顔にする会(中山真知子代表)が主催。参加者は、クラシック音楽やジャズセッションなどを楽しみました。



市立図書館が文部科学大臣表彰受賞

小林市立図書館が、子供の読書活動の優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞し、5月6日、市長に受賞を報告しました。児童を対象にした読みきかせ事業などの取り組みのほか、学校図書館の維持運営の支援も行っていることが高く評価されました。



市内小中学校教職員 20 人を 市教育研究センター研究員に委嘱

5月9日、小林市教育研究センター研究員に市内小中学校の教職員 20 人を委嘱しました。同センターは市の教育の充実・発展に寄与することを目的としており、今年で創立から 39 年目。児童生徒 1 人に 1 台ずつ整備されたタブレット端末の授業への活用方法などの調査・研究を行い、その成果を市内の教育現場へ広げるため活動します。



研究員を代表して大野俊彦主任研究員が「20人で連携して調査研究を行い、その成果を市内の先生方に広げていきたい」と誓いのことを述べました

厄払い記念に母校野尻中学校へ寄付

4月8日、野尻中学校の平成8年度卒業生が、母校へ寄付金を贈呈しました。代表して訪れた西篤志さんら4人から目録を受け取った同校の高平琢也校長は「コロナで苦しんでいる家庭もあり大変ありがたい。子ども達に役立つものを購入します」と話していました。



ひまわりで豪華寝台列車をおもてなし

4月20日、吉都線に観光列車を呼ぼう！小林実行委員会(吉村秀昭会長)主催で西小林駅沿線にひまわりの種がまかれました。これは10月に初めて吉都線を運行コースに組み入れたJR九州の豪華寝台列車「ななつ星」のおもてなしのために行われたものです。



1500m 中学男子県新記録をマークした掲示板前でガッツポーズを取る鶴さん。記録会は小学生から社会人まで延べ300人がエントリーしました
鶴優希さん中学男子 1500m で
県記録を 27 年ぶりに更新

4月30日、市陸上競技場で小林市春季記録会が開催され、小林中3年の鶴優希さんが男子1500mの部で4分3秒79をマークし、県中学記録を27年ぶりに更新しました。鶴さんは、「社会人ランナーに序盤からついていくことで、記録更新に繋がった。この記録を一人で走っても出せるように励みたい」と喜びを話していました。

ゲーム開発やデータ入力代行業務 を行うIT企業のオフィスが開設

5月6日、ガルヒ就労支援サービス株式会社(宮脇正代表取締役)のサテライトオフィス「サテライトマーリン」新設に伴う立地調印式が市議会の森田哲朗議長、県企業立地推進局の平山文春局長立会いのもと開催されました。オフィスでは、ゲーム開発やデータ入力代行業務などを行う予定で、17人の新規雇用を見込んでいます。

ガルヒ就労支援サービス株式会社・小林市 立地協定調印式



宮脇代表はITに特化した就労支援事業所も運営しており、式では「障がいのある関わらずスキルを持つ人の雇用を積極的に進めたい」と語りました

市民の健康増進や栄養改善に貢献 市食生活改善推進協議会に県表彰

4月21日、小林市食生活改善推進協議会(植村タミエ会長)が県公衆衛生功労者表彰受賞を市長に報告しました。この賞は、健康増進や、栄養改善などで公衆衛生活動を長年行い、将来もその活動が期待できる団体に贈られるもの。同団体は、市民の健康づくりに役立つ食生活改善のための調理実習や講習会などを開催しています。



右から植村会長、梯タミ副会長。植村会長は「受賞は全会員と地域の方々のおかげ。今後も市民の健康増進のため活動を続けたい」と話しました



鶴水副市長は昭和59年に野尻町役場に入庁し、総務部長や経済部長などを歴任。豊富な行政経験を活かし、宮原市長をサポートします

豊富な行政経験で宮原市長を補佐 鶴水義広氏が副市長に就任

4月28日、臨時議会において、鶴水義広氏が副市長に選任することが承認されました。同日、辞令を交付された鶴水氏は、「市民の皆さま、関係団体の皆さまとの対話を大切にしながら、『市民が元気で笑顔になれる小林市』を目指して、市役所一体となって取り組んでいきます」と決意を語りました。



白回団長を務めた須木小6年生の永迫志穂さんは、「練習したソーラン節をたくさんの方が見てくれてうれしかった」と話していました

青空の下で練習の成果披露 須木小・中学校合同運動会を開催

5月22日、須木中学校グラウンドで須木小・中学校合同運動会が開催されました。小学生による大玉転がしや中学生による「がつつい小林」の演舞、小中学生合同による全員リレー競走など、児童・生徒が多彩な競技やダンスで練習の成果を披露しました。晴れ渡ったグラウンド上で、児童・生徒57人は笑顔いっぱいに汗を流しました。

そのさだや 園田貞哉さんを教育委員に委嘱

5月10日、園田貞哉さんが教育委員に委嘱されました。教育委員は、教育行政に関し識見を有する人が委嘱されるもので、市の教育に関する方針や重要事項の決定を行う役割を担います。今回の任期は令和8年までの4年間になります。



ボランティアなどが出の山公園を清掃

5月19日、ホテルの生息環境を保護し、「出の山ホテル恋まつり（詳細は22頁）」を盛り上げることを目的に、小林まちづくり株式会社、商工会議所、地元業者やボランティアなど約100人が出の山公園周辺の草刈りやゴミ拾いを行いました。



高齢者の健康状態などを調査する 在宅高齢者訪問等調査員を委嘱

5月16日・20日に、在宅高齢者訪問等調査員の委嘱状交付式が行われ、新たに4人が調査員に委嘱されました。調査員は、全34人の市民ボランティアで構成。令和2年度から調査員を務める吉丸恵子さんは、「コロナ禍で外に出られず悩みを抱えている人たちの状態悪化を防ぐため、早期発見・介入に努めたい」と話していました。



コロナ禍の影響などで活動の機会が減っている在宅高齢者を訪問、健康維持や必要な支援につなげるための調査を行います(活動の詳細は12頁に記載)

鮮やかなバラに癒やされて

5月8日、大塚原公園で「のじりローズフェスタ2022」が開催され、市内外から多くの参加者が訪れました。色鮮やかなバラが咲き誇る園内では、摘みたてのバラでブーケを作るアレンジメントイベントや、ライブイベントで賑わっていました。



はたなかみつお 畠中光男さんを監査委員に選任

5月10日、畠中光男さんが監査委員に選任されました。監査委員は自治体の財務に関する事務などで法令違反がないか、効率的に行われているかを監査し、その結果を広く市民に知らせる重要な役割を担います。今回の任期は令和8年までの4年間です。



牧社長は協定締結式で、「地方創生のノウハウや発信したい情報を相互に交換し、小林市が発展していくお手伝いをしていきたい」とあいさつしました

活力ある地域社会づくりを目指して MRTとパートナーシップ協定締結

5月12日、市と株式会社宮崎放送(牧巖代表取締役社長)は、「包括的パートナーシップ協定」を締結しました。この協定は、お互いのサービス向上や活力ある地域づくりにつなげることを目的としたもの。今後、テレビ・ラジオなどでの情報発信をはじめ、災害関連情報の共有・発信やSDGs推進などを目指して連携していきます。

今年も収穫量・品質共に高い水準 消費拡大へメロンとマンゴー贈呈

5月16日、JAこばやしメロン部会(中岡敏彦部会長)と同マンゴー部会(松田泰一部会長)が、「めろめろメロン」と「太陽のタマゴ」を市長に贈呈しました。今年も感染症拡大防止のため会場でのイベントは行わず、予約注文での販売のみ実施。式では、燃油高による農家の厳しい現状や、今年の出荷量・品質などについても報告されました。



中岡部会長は「今年もメロン・マンゴーの出来はいい。市の魅力ある特産品でもあり、たくさんの人に味わって欲しい」と話していました

日本郵便株式会社の地域ネットワークを活用した連携協定を締結

5月11日、市と日本郵便株式会社は市民サービスの向上や地域課題の解決を図ることを目的に包括的連携協定を締結しました。日本郵便の中原泰朗宮崎県南部地区連絡会地区統括局長は「将来を担う子どもの育成や高齢者の特殊詐欺被害防止などのため、郵便局のネットワークをフル活用して貢献したい」と話しました。



協定締結により、郵便局ネットワークを活用し、地域の見守り活動や、道路損傷の情報提供、振り込め詐欺未然防止の取り組みなどが期待されます



大会に出場した松田颯音さんは「全国大会では、宮崎県代表として恥ずかしいプレーをすることができました」と市長に報告しました

小林ミニレッドフェニックスが 全国大会で全戦全勝の大躍進

5月12日、小林ミニレッドフェニックススポーツ少年団が、3月30日～31日にかけて開催された第53回全国ミニバスケットボール大会の結果を市長に報告しました。結果は3勝0敗で全戦全勝。交歓大会のため優勝などは無かったものの、選手らは全国大会という最高の舞台で自分たちの力を発揮できたことを喜んでいました。